

2024年9月 (No.423)

主な内容とページ

急浮上した韓台連携、上期世界半導体貿易.....	1
全体では低調だが、上位 10 か国は増加	2
半導体輸入、主要国が大幅増	3
韓国が 1 年前の最大落ち込みから最大伸び.....	4
韓台連携なるか.....	5
中国の輸入伸び率、過去最低か	7
中国、好調だった個別デバイスが失速	8
10 歳の「ペッパー」(SRL だより).....	9

急浮上した韓台連携、上期世界半導体貿易

今年上期の世界の半導体貿易は、輸出輸入ともに低調だった。

1. 世界の半導体市場は回復の動きをみせているが、半導体貿易全体では低調。そのなかで韓国の輸出急伸、台湾の輸入急伸など AI 絡みとみられる突出した動きが出てきた。
2. 貿易が低調なのは、大きなシェアを持つ中国および香港の輸出入が停滞から抜け出しておらず、今後も尾を引きそう。
3. 日本は、輸入で世界トップ 10 から脱落。輸出は伸びず、世界の成長の波から脱落する傾向が強まってきた。

10 歳の「ペッパー」

ソフトバンクが人型ロボット“ペッパー”を登場させたのが 2014 年。目がくりくりし、話しかけに応じるかわいらしい姿は話題を集め、ヒットが期待された。しかしながら 2017 年 7 月の本欄では、ロボット事業が 300 億円程度の赤字で、普及に手間取っていることを紹介している。

ペッパーは今でもいろいろなところで動いているが、ぱっとしない。例えば応答が遅かったり、すぐに動作せず、やきもきさせるのが一つの泣き所。10 年前の最新技術が結集されているが、今の技術なら異なったものになりそう。AI 技術を使い、てきぱき会話、きびきびした動作も出来そう。

世界的には米テスラはロボット事業に本腰を入れる構え、中国は産業用ロボットではロボット大国の地位を固め最近では配膳用ロボットなどに力をいれつつあるという。ソフトバンクもかなめの CPU では英アームを擁し、AI ではさらな飛躍を狙っている。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。但しオンライン法人契約を除きます。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL の解釈と分析で表現したものです。 2024 年 著作権所有 株式会社 SRL

SRL Monthly Report

2024 年 9 月 (毎月 1 回発行) 第 35 巻 9 号 (通巻 423 号)

発行元: 株式会社 SRL

〒187-0011 東京都小平市鈴木町 2-865-67

TEL 042(318)7729

編集・発行人/大竹 修

© (株)SRL 2024

SRL Monthly Report

September 2024, No.423

Semicon Research Ltd.

2-865-67 Suzuki-Cho, Kodaira -City, Tokyo 187-0011 Japan

Publisher/Editor Osamu Ohtake

個人利用購読料金 1 年分 12 号 107,800 円 (税込み)